
麻生リトル・ラグーメン



神奈川県川崎市

麻生ラグビースクール

新しい夏合宿の試みを展開

夏合宿担当 重住 英彰

今年は5月のチーフコーチ会議において、夏合宿の内容や予定を抜本的に見直し「練習時間の一層の確保」を目標に掲げました。その実現のために、ミスマッチな対戦の可能性があるジャンボリーの参加を控えたり、稲城でも開催可能なコーチ試合を取り止めるなどの工夫を駆使して、少しでも子供たちの練習時間を捻出する努力を尽くしました。この結果、今年の夏合宿は例年に比べて地味ながら山光館グラウンドに腰を据え練習に専念しました。しかしBBQや花火大会は大いに盛り上がり、全ての行事を成功裏に終了できました。

そこで各学年の夏合宿の練習活動や試合内容の紹介は各チーフコーチの記載にお任せし、ここではスクール全体の生活や行事の様子と対戦記録を示します。

【夏合宿の集団生活】

夏合宿ではラグビーの練習のみならず、子供たちの集団生活も重要な体験と位置付けています。子供たちを学年縦割りに7班に分け、6年生の班長と5年生の副班長のもとで寝食を共にする共同生活を過ごしました。スクールの日頃の練習や試合などの活動は学年単位であるために、6年生の班長は3年生や4年生の班員とは馴染みがなく、指示や統制のためにはコミュニケーションに工夫が必要でした。一方の初参加の3年生にとっても一度も口をきいたことがない兄貴からのいきなりの指示に右往左往することもあったようです。

しかしスクールでは、この学年縦割りの活動を上級生と下級生が仲良くなる場として捉えるだけでなく、ラグビーにおけるチームマネジメントを養う場として位置づけ、各班に担当コーチを配置して子供たちの行動を側面から支援しました。

このような環境での子供たちの班別生活の一日を振り返ってみます。まず起床ですが、多くの子供たちは緊張のためか朝早くから目を覚まし集合時刻のかなり前から待機している状態でした。むしろ素早い身支度が課題であり、とりわけ不慣れな3年生が準備に手早い朝の集合に遅れてしまい班長を悩ませる場面も見受けられました。

次に食事の際には3年生や4年生が我先にと食堂に掛け付け、「班長や6年生は遊んでいる」と不満顔で訴えました。一方で集合時刻を認識しながら敢えて空いている風呂場を目指し、仲間を食堂前に待たせながらも「湯船を独り占め出来て良かった！」と満足気な大物？3年生もいました。

そして、いざ食事となると、上級生は食事中にどんなに騒いでいても食べるのが早いのですが、下級生は一緒に騒ぎながらも手が疎かになり、いつの間にか取り残されてしまいました。さらに今年は特に、「食の細い(摂取量が少ない)子供。食の遅い(摂取時間が他の2倍以上かかる)子供」が多数目立ちました。合宿では、「一定時間内に一定量の食事を食べることも課題とし、担当コーチが膝詰めで対応に当たりました。これは少しでも集団生活に馴染めるように指導したのであって決してパワハラではありません。

また就寝時は、昼間の激しい練習による疲れのためか、枕投げをする間もなく、どの部屋もあつと

言う間に熟睡してしまい大きなトラブルは無かったようです。もちろん中々寝付けなかった上級生の話し声に悩んだ下級生もいたようですが、いつの間にか寝入ってしまったそうです。

さらに最終日の朝は食事の前にチェックアウトの準備があり、しかも布団やシーツを畳み。部屋を掃除しなければなりません。不慣れな3年生に手取り足取り教える班長が居る一歩で、手際の良い6年生が下級生の分も一挙に片付けてしまった班もありました。

このように班体制による集団生活は、6年生の班長の性格と創意工夫によって展開されました。しかし時間管理に無頓着な3年生、仲間との遊びに夢中な4年生、さらに唯我独尊の5年生を率いた班長は班態勢の統制に大変な苦勞したようでした。

そこで難関を乗り越えた班長の代表的な姿を紹介します。

- 第1班 真輝: 下級生の不始末を自分一人で背負い解決のために奔走
- 第2班 遥希: 遊び回る下級生を静かに観察し、こころで厳しく指導
- 第3班 侑温: 悪戯っ子の下級生と一緒に遊びながら楽しい指示
- 第4班 春輝: おとなしい下級生に恵まれ噛みしめるような訓示
- 第5班 竜之介: 手強い下級生にも睨みを利かせて「付いて来い！」
- 第6班 成己: 下級生の班員と車座になって「過ごし方」を得々と説明
- 第7班 沙穂: 小うるさい下級生も一瞬の笑顔で静めてしまう

各班の担当コーチは子供たちの自主性を尊重しつつ、きめ細かく注意を払いました。

このようなリーダーシップの洗礼を受けた下級生が、来年はどのように振舞うか、子供たちの成長が楽しみです。

夏合宿において山光館の風呂場の脱衣所は忘れ物の最大の発生場所です。毎日、午前と午後の練習の後の入浴機会には脱ぎ捨てられた靴下や下着などが忘れ去られています。初参加の3年生は緊張ためか用心深く着替えたので忘れ物が少なかったようです。一方、経験豊富な5年生や6年生は要領良く忘れ物を防いでいました。この結果、今年は栄誉ある「忘れ物王」の該当者はいませんでした。

今年は白地に赤い2本線のストッキングの忘れ物が目立ちました。これらに持ち主の名前が記されていないなかったために、試合の後に置き忘れてたり、取り違えたりした結果、持ち主が不明のストッキングが山のように集まりました。いずれにしても8月末まではスクールにて持ち主が不明な忘れ物を預かっておりますので、心当たりのある方は照会ください。

【夏合宿の対戦記録】

《菅平ミニラグビージャンボリー》

夏合宿3日目の16日(日)にはサニアパークで開催された第11回菅平ミニラグビージャンボリーに麻生は3年生と5年生が参戦しました。

この大会の対戦は、中学年(3~4年)、高学年(5~6年)の括りで行われ、従来は対戦当日まで相手チームの学年構成が分かりませんでした。そこで4年生と6年生はミスマッチな下級生との対戦を

避けるために今年是不参加でした。

しかし今年は大大会運営が神奈川県協会の担当だったので、各スクールに共通したミスマッチの懸念が払拭されました。しかし、それが判明したのは大会直前のことでした。

〈3年生〉

3年生には21名が所属するので7人制の3チームをエントリーし、全員が全ての試合の前後半フル出場することを目指しました。大会の前日に3チームの編成を発表し、自分たちでポジションを決め、日頃は接点のない各地のスクールを相手に腕試しを挑みました。その結果、子供たちはコーチの期待以上に善戦し大いに楽しみました。もちろん数々の課題も露呈しましたが、まずは初合宿の成果を褒めてあげました。

麻生(O) ● 5-25 ○ 京都 Kiwi' s3年
麻生(O) ○40-20 ● 宇都宮 3~4年
麻生(N) ○45-10 ● 川口 3年
麻生(N) ●20-45 ○ 栃木 3~4年
麻生(R) ○35-15 ● 八王子 3年
麻生(R) ● 0-20 ○ 山梨 3~4年

3年生のチーム名はユニフォームの色に由来

O: 橙色 Orange

N: 紺色 Navy

R: 赤色 Red

〈5年生〉

厳しい練習で着実に成果を挙げている5年生は、強豪の京都プログレと常総ジュニアの5年生を完封した。さすがに常総ジュニアの6年生には苦戦したが大いに自信になったようです。

麻生 ○75-0 ● 京都プログレ 5年
麻生 ●30-40 ○ 常総ジュニア 5~6年

《対外交流試合》

ジャンボリーに参加しなかった4年生は大和RSのグラウンドへ出稽古に向かいました。いつもながら大和とは接戦となりましたが、合計では僅差での惜敗となりました。

麻生 ● 5-10 ○ 大和
麻生 ○15-5 ● 大和
麻生 ● 0-15 ○ 大和

《学年対抗戦》

夏合宿では各学年ともに練習に専念することを目標としたために、スクール内の学年対抗戦は当初は計画に入っていませんでした。しかし現地での練習の成果を確認するために自然発生的にチーフコーチの間で企画が進められました。この対戦で、上級生は力・技術・スピードにおいて「一日

の長」を見せ付けますが、下級生は「負けてもともと」の気迫で激しく当たりますので意外な展開が起きます。

4年生に手加減していただいても1年の格差は大きく、3年生のOもNも上級生の個人技には全く歯が立ちませんでした。しかし3年生が咄嗟にダブルタックルで4年生の足を止めた時には、果敢にオーバーに入るなど大いに評価できるプレーが見受けられました。その流れがRチームの得点、そして引き分けへの原動力になりました。

3年生 O ● 0-20○ 4年生 D

3年生 N ● 0-15○ 4年生 C

3年生 R △10-10△ 4年生 B

その4年生も5年生を相手には苦勞します。しかし4年生の勝利への執拗な粘りが功を奏し、上級生を相手に引き分けへ持ち込みました。それにしても、4年生Bチームは3年生相手にも、そして5年生を相手にも引き分けた全隣友好的な不思議なチームです。

4年生 A ● 5-45○ 5年生 A

4年生 B △20-20△ 5年生 B

そして6年生が5年生を相手に華麗なプレーで締め括ってくれるフィナーレです。しかしトライ数こそ7本と一方的ですが、その大半はセットプレーからの個人技によるものであり、コンタクトプレーでは5年生が互角以上の戦いを展開しました。

5年生 ● 0-35○ 6年生

試合後のチーフのコメントが試合の状況を物語っています。

〈5年生小山田チーフ〉

ラックやコンタクトでの当たりの強さでは決して6年生に負けていなかった。
しかし個々のプレーのスピードにおいて6年生に一日の長があった。
お陰で自信と励みとなるとともに課題が明らかになりました。

〈6年生大坪チーフ〉

セットプレーからの個人技でディフェンスラインを突破してトライを奪っただけ。
鋭く低いタックルやオーバーは5年生に圧倒され放しで苦戦の連続。
トライへの結び付けには長けていたが、ラグビーそのものでは5年生に完敗！

【菅平賞の授与】

毎年、夏合宿の最後に、最も成長した子供の成果を称え、荣誉ある「菅平賞」を授与しよう。今年も各学年のコーチが受賞対象者を選ぶために深夜まで侃々鏘々の議論を展開しました。授与式では、各学年のチーフコーチから受賞者の氏名と選考理由が発表され、次いで校長より恒例のキャップが贈られました。

(3年生：谷澤 慶)

練習では常にチームの中での盛り上げ役で仲間を元気付けた頼りになる奴。
試合では相手ボールでも最後まで決して諦めずに走り切った強い心の持ち主。

(4年生：佐上 海人)

今合宿のテーマである「パス」「キャッチング」「タックル」「大きな声」を達成！
5年生の大きな相手にも果敢にタックルを挑み、練習の成果を試合でも発揮した。

(5年生：佐藤 巧)

最初の年には練習で涙を流していたのに、今や厳しい練習も皆を率いる逸材に。
普段は優しい顔立ちながら、いざタックルの際には闘魂溢れる形相に急変！

(6年生：諸田 章彦)

6年生に限らず常に全学年に気を配り、スクール全体を牽引したキャプテンシー。
自らを厳しい練習に追い込む姿勢が仲間を鼓舞しチームワークの絆を強めた。

これらの成果が秋の県大会に生かされることを期待します。

【夏合宿担当のお母様方への感謝】

このように子供たちとコーチがグラウンドでラグビーに集中することが出来たのは、5年生の夏合宿担当のお母様方による献身的なご支援のおかげです。毎朝早くからグラウンドでの朝食の準備に始まり、グラウンドでは終日にわたっての給水などのサービスが続き、同時に山光館では食事の配膳をこなし、食後の後片付けも。さらに子供たちの就寝後の飲み物の準備に至るまで休む暇も無いほどの重労働でした。

その上、今年は練習時間を捻出するために恒例の諸行事を見直したために、従来から申し送られたマニュアルが役立たないケースが多々発生してしまい、ご担当のお母様方には大変ご苦勞をおかけしました。本当にお世話になりありがとうございました。この紙面を借りて改めて感謝申し上げます。

今年の夏合宿も梅雨明け前でしたが雨に祟られることもなく、穏やかな天気の中での練習でしたので熱中症の気配もありませんでした。また6年生は激しい練習のために負傷者が続出しましたが、大きな怪我に至った者はいませんでした。このように皆さんのご協力のおかげで、今年も夏合宿を安全に終了することが出来ました。

ひとまず子供たちもコーチも夏休みを満喫して英気を養い、秋のシーズンに備えましょう。

以上

2017年夏合宿の総括

幹事長 加賀

合宿に参加したコーチとお手伝いの父母の皆さんお疲れ様でした。以下に夏合宿の総括を報告します。

- 参加者は小学生単独で、ピーク112名が参加し、昨年とほぼ同数でした。

日程 内訳	14(金)				15(土)				16(日)				17(月)		
	バス往路		夕食	宿泊	朝食	昼食	夕食	宿泊	朝食	昼食	夕食	宿泊	朝食	昼食	バス復路
生徒	65		65	65	66	66	66	67	67	68	68	67	67	67	64
コーチ男	13		15	17	22	26	30	30	31	31	29	24	24	21	14
母	4		6	6	6	6	6	6	6	6	8	6	6	6	4
父	1		1	1	2	2	2	2	2	3	5	3	3	3	1
子供	2		2	2	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2
合計	85		89	91	98	102	106	107	110	110	112	102	102	99	85
去年	73		73	74	87	103	102	102	104	109	110	102	102	99	79

- 行きのバスは、17時00分黒川出発で国立ICから八王子・圏央道経由で、途中上里SAで夕食の弁当を車中で食べ、東部湯の丸SAでトイレ休憩して予定通り21時45分過ぎに到着しました。帰りは13時00分出発、上里SAと狭山PAでトイレ休憩？、予定通り19時に帰着しました。バスは神奈中バスで行き2台、帰りトイレ付2台で車中ではDVDで楽しみました。
- 宿は、秦野・厚木RSのジュニアが同宿で、3階に女性・5年コーチ、新館に子供7班と3～6年コーチ、旧館に低学年と父、3年～6年コーチとして、大広間での宿泊なしで対応しました。班担当コーチは1班から山崎・牛山・夏川・斎川・笹崎・倉谷・小作コーチが専任して食事や班長の相談相手などを担当しました。
- 天気は、梅雨明け前でしたが日曜日午後に雨がりましたが、全体を通しては曇りで小学校裏の山光館第2グラウンドで行い、今シーズン初めての柔らかな芝生を全面利用できました。今年の低学年は参加者ゼロでした。
- バーベキューは山光館に新設されたバーベキュー棟で最初のバーベキューを頂き、その後に、グラウンドに移動して技術指導担当の米元・杉浦・上田・笹崎・河合コーチが打ち上げる迫力のある花火に子供たちも喜んで頂き、去年の反省も含めてアンコール対応もできました。
- 夜のコーチミーティングは大広間を利用して開催され、原則23時までと言うことで23時には終了し、その後は各部屋での2次会でしたが、毎晩5年ママたちも全員参加していただきました。総務部は夏川部長以下、牛山・斎川・笹崎・倉谷・小作コーチが担当していただきましたが、初日から冷えたビールが飲めず、ブーイングもありましたが、その後は缶ビール・チューハイとワインや焼酎に軽いつまみが提供されました。会費は昨年同様ですが、年々酒量の減少やお酒・つまみの事前購入などで上手く収まりました。また、6年父母と湊コーチからビールの差し入れを頂き、ありがとうございました。
- 試合は16日にミニジャンボリーに3、5年が参加し、4、6年は練習に専念しましたが、4年は大和市RSとの対外試合や3・4年や4・5年、5・6年との対抗戦も行われました。
- 恒例のコーチ試合は、フルメンバーが揃わない事情もあり、12月に実施することになりました。
- 大きな怪我もなく、救急対応部屋の利用もありませんでした。
- 宿での水分補給は持参したコップにて廊下に設置したジャグジーにて麦茶をサービスしました。また食事中は各班に担当コーチが入って、最後の1人が食べ終わるまで見守りました。班長と副班長の指名及び班割りを7/9に行いましたが、子供たちに周知させ、班長には班長としてやることをまとめたマニュアルとストップウォッチを配布しました。忘れ物は毎年多くありますが、5年生の2人が目立ちました。集合時間などは概ね問題はありませんでしたが、班長が遅い班もありました。合宿担当父母の仕事量低減対策として今年から最終日の朝食は山光館で摂るようにしました。最後の打ち上げ時の校歌斉唱も夏合宿のしおりに記載した効果が6年を中心に歌えていました。最後に夏合宿反省会兼打上げは8月20日に実施予定で、反省項目は山光館からロビーやラウンジで読んだ本の後片づけやスパイクの新聞紙のゴミ処理ができていない、コーチもそれを注意できていないのご指摘を頂きました。また、帰りのバスは定員オーバーでコーチ1名が夏川車に同乗しました。

以上

ラグビーして、ラグビーして、ミーティングして、ラグビーする

技術指導 杉浦 輝明

ラグビーして、ラグビーして、ミーティングして、ラグビーした3泊4日でした。

天然芝だからこそ、いつもよりグラウンドに寝転がるメニューを多く取り入れたり、同じメニューに取り組む時間を長くしたり、コンタクト練習もちょっと多くしたり、カラダとアタマをたくさん使ってもらいました。みんなも疲れたと思いますが、手伝ってくれたお父さんお母さんお兄ちゃんお姉ちゃん弟や妹、そしてコーチたちも疲れました。

でもこれが合宿です！

たくさんラグビーすると、ちょっと腕が痛いなあ、足はいつもと違って重たいなあ、走りたくないなあ、肩もズキズキする感じ、そんなにいっぱい言われても急には出来ないよ、ちゃんとやっているのに…

疲れていても、痛くても、それに負けずに練習や試合に取組んだこと、たくさん考えながらプレーをしたことが(例えば、タックルの時は頭を下げない、踏み込む、バインド(掴んで)して、ドライブ(足を前にかく)する)菅平で成長したところだと思います。

今年は4年生と6年生はジャンボリーに参加せず、練習することを中心にしたスケジュールでした。基本プレーを見直したり、新しいスキルやビジョンを学んだと思います。

どのくらい覚えていますか？

最終日のスケジュールも少し変わりました。コーチ試合を延期(冬のイベントでやる予定です)したり、ランパスではなく「3分間ドリル」にしたり、最後までキツイ練習をして、ラグビー力のアップを目指しました。

この合宿を通じて、参加したみんなが「ラグビーが少し上手になったかも」「パス、タックル、ステップが出来るようになった」「もっと練習したかった」「この練習はどうすればできるのだろうか」「もう3分間ドリルはイヤだなあ」「次は仲間の名前を呼ぶことを意識して練習してみよう」など、ラグビーについて、少しでもそれぞれが考えたり、感じてくれたのなら、コーチたちは嬉しく思います。

これからもみんなでラグビーして、ラグビーして、ラグビーしましょう。

神奈川 DAGS 2017 年度夏合宿
2017.07.28～07.31 in 菅平高原



[ホテル亀屋 グラウンド]

合宿で見つけた課題

中学3年 吉田 隼輔

合宿で3回試合をして、すべてに共通している事があると思いました。それは、チームのムードが良い時は、チームの1人1人が自分の強みを出せ、ムードが悪い時には、ミスが多発し点を取られたりするという事です。

この合宿でこのような課題が見つかったので、秋の県大会までには点を取られても声を出して、悪いムードを断ち切れる様にしたいです。

コーチやOB、ご父兄の方々、僕たちの練習に付き合ってください、ありがとうございました。

夏合宿

中学2年 海老原 銀次

今回の夏合宿ではいつも出来ていない声や夏合宿を通して出るようになってきました。僕は夏合宿で目標にしていた刺さるタックルが出来ていなかった。夏合宿の試合を見てダメな点があることがわかった。それは癖になってる逆ヘッドと飛び込みタックルがダメな点だとわかった。しかし、ダメな点もあったが良い点もあったので今回の夏合宿で成長できました。

夏合宿

中学2年 森 天

今回の合宿での僕の目標は、「低い姿勢を身に着ける」でした。この目標は達成できたと思います。

合宿が終わっての新しい自分の課題は「カバーディフェンス」です。

この課題を挙げた理由は、試合や練習を通じて、ピラーやスクラムから、フォワードとしてのディフェンスの動きが自分に不足していると感じたためです。

課題克服のポイントは、①反応スピードを上げること、②しっかりパッキングすることだと考えています。

秋の大会では、これらの課題を克服した状態で臨み、一つでも多く勝つよう、精一杯頑張ります。



夏合宿を終えて

中学1年 石野 創太郎

DAGS での初めての夏合宿にあたり、「周りを見て即座に状況を判断する」という目標を立てた。相模原戦では、トライは何本か取れたものの、力任せに進み、単独プレーが多くなってしまった。世田谷戦では、「周りを見る」という目標を意識でき、仲間との連携が取れたり空いているスペースを見つけて走ることができた。しかし、ディフェンスの面では周りを見れずに穴が開いてしまい、そこをつかれて点差をつけられてしまった。

同志社香里戦では、全体のラインを見て入れるところに自分が入り、遠くにいる場合はボックスに声をかけてディフェンスの穴をなくすように心がけた。また、ディフェンスラインをよく見てオフサイドをしていないかといったことや、アップするときに自分だけ先に出ずディフェンスラインを揃えることを意識した。

高崎戦では、周りがよく見えるようになり、フォワードでピックアンドゴーやガットを使って攻めることができたり、相手の穴を見つけてトライすることができた。ディフェンス面でも空きがないようにディフェンスラインを揃えたり、低いタックルも意識できるようになった。しかし、相手のアタックが強力で、二次三次攻撃を仕掛けられると、タックルが高くなってしまったり、ディフェンスが間に合わず、最終的には空いてしまったところを抜けられてしまった。

全体を見ると、やはりまだまだディフェンスが甘いところがあるが、アタック面ではフォワードの仲間とのコミュニケーションが取れたことが進歩したと思う。

「周りを見て即座に状況を判断する」という目標は 50%くらいしか達成できなかったが、自分が精一杯やった結果だ。

もちろん自分はまだまだこれからなので、この 50%が倍になるように、これからの練習に励んでいきたい。

夏合宿

中学1年 高橋 遼成

ぼくの夏合宿の目標は「タックルを強くなる」でした。

一日目の東京ベイとの試合では抜けてきた相手を止めることが出来ずぬかれてしまいました。だから練習では特にタックルを頑張りました。前に出る、パックをしっかりする、低く当たる、足をかくことを全部一回で出来るようにしました。

だから最後にやった高崎戦では一日目よりいいタックルが出来たと思います。

でもまだまだ足りないのもっと練習しタックルを強くします。

合宿のふり返り

中学1年 土方 将嗣

DAGS に入って初めての合宿は、最初少し緊張をしました。今回の合宿でできたことは、フォワードに指示できたことです。それは、フォワードがラックにしっかり入って来てくれたからです。

また、できなかったことはポイントに速くよることが出来なかったことと、パスが正確に出せなかったことです。この改善点は、しっかりポイントのできそうな場所を予想して、そこに速く行けるようにしたいです。また、毎日ボールに触れてパスアップをしていきたいです。

できたことはさらに良くしていけるように、できなかったことは意識して練習して秋の大会で頑張っていきたいです。

菅平合宿について

中学1年 森下 響介

僕はこの合宿で早くポイントに行くという目標を出しました。

前よりも早くポイントに行くことを意識して練習や試合をしました。まだまだ遅いと思ったので、これからもっと速くポイントに行くためにタックルをした後すぐに立ち上がり、すぐにポイントに行く事を意識して試合や練習をしていきます。

そして、もう一つの目標は、でかい相手でも一発で相手を止められるタックルをできるようになることです。タックルでは低いこうと思っているけど、いざとなると高いタックルになってしまうので、いつでも低いけるよう体に覚えこませます。

この合宿では、自分の悪いところを見直すことができました。

全体的に自分が成長出来たと思います。これからももっと努力し、成長します。



「夏合宿」

中学2年 森天 父 敦

コーチ・OB の皆様、合宿をサポートして頂いた保護者の皆様、菅平夏合宿 2017 でも、大変お世話になりました。ありがとうございます。

天がラグビーを始めてから、4年目になりますが、自身が大好きなことだけに、積極的に練習参加したり、試合で頑張っている姿を見ると、やはり応援したくなります。(親ばか発言すみません・・・)

ただ、頼もしい3年生のFW陣(特に最前列の3人)が身体を張ってボールをキープするプレーがあるからこそ、天はのびのびやれているのだと思います。

秋から始まる県大会は、その頼もしい先輩たちと一緒にプレーする少ない機会です。

先輩たちのプレーをそばで見て、しっかり吸収し、来年につなげてもらいたいです。

また、合宿で学んだことを試合でも発揮できるよう、メンバー間のコミュニケーションを十分にとり、チーム一丸となって、納得いく形で大会を終えられるよう頑張ってください。

ビデオ撮影しながら、精いっぱい、やかましい応援します！！

【練習風景】



きつつ〜い練習



鬼コーチ



もう帰りたい...

【練習試合】



やる時はやってやってやるぜ！！ 同志社香里戦



高崎RS戦



神奈川DAGS Aチーム



神奈川DAGS Cチーム



魅せてやる！展開ラグビー



決めたぜ！トライ！！

【闘いを終えて】



ゲーム後の素敵な笑顔



バナナのよく似合うおサルさんたち



BBQ 仲間との憩いのひと時

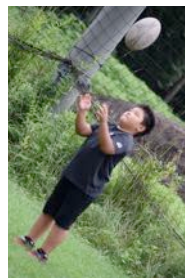


自由時間にはお買い物

【ゆかいな仲間たち】



小坂コーチ、Y元コーチとOBの皆さん
合宿サポートありがとうございました。



チビっ子たちも合宿に参加
合宿応援ありがとうございました。

〈6年生〉



夏合宿を終えて

6年チーフコーチ 大坪 功

今年は、小学部最後の夏合宿。班長に選ばれた人もそうでない人も、最上級生として下級生の見本となる自覚を持った行動がとれましたか？！カッコよくやさしい、時にはビシッとしたお兄ちゃん、お姉ちゃんになれましたか？！一人一人が自覚と目標をもってこの合宿に臨んでくれていれば嬉しく思います。

ジャンボリー大会には参加せず練習漬けの合宿。合宿前に、強豪チームとの惨敗を経た事で、課題点が浮き彫りとなり、“個から組織への意識改革！”というテーマを掲げ臨みました。

一つ一つの基本プレーの精度を上げる事、中々時間を費やせなかつたタックルの強化。久しぶりに、オフロードパスのおさらい。新たな技術として、アングルチェンジ、ボールをもらう前の動き、スペースへの切り込み方等、皆が、習得出来るよう確り掘り下げ反復しました。また、スペースを広く使ったタッチフットやアタックディフェンスの時間を出来るだけ多く取り、スペースの活かし方やフェーズを重ねるリズムを掴んでくれました。

今年も「助っ人コーチ」として昨年に引き続き、古田コーチや河合コーチ、新たに小作コーチ、元校長の佐藤さんにも加わって頂きました。本当に助かりました。ありがとうございました！

菅平賞は、キャプテンの諸田章彦さんに満場一致で決めました。練習への取組姿勢、普段から気配り、皆を引っ張っていかうという強いキャプテンシー、この合宿に掛ける思いを強く感じました。個性の強い生徒達を時には厳しく、時にはやさしく、時には一緒にバカになり、本当に上手く纏めてくれました。この調子で県大会、ヒーローズカップ、ファイナルカップと、お願いします。

また、今回は特別賞として、毛利沙穂ちゃんと、川原稜平くんにもあげる事としました。練習への取組姿勢、この合宿に掛ける思いが強く伝わったので、コーチ陣で話し合い特別決めました。

最後になりましたが、合宿担当の5年生のご父母の方々、またお手伝いに駆け付けて頂いた6年生のご父母の方々、本当にありがとうございました。これからは本番です。引き続き宜しくお願いします！

あっぱれ6年生

6年コーチ 原田 泰一

今年はジャンボリーに参加することなく、トコトン練習の3泊4日。また、最終日恒例のイベント等も趣向が変わり、自身としても新しい体験が盛りだくさんの菅平合宿となりました。

練習三昧の日々で傷んだ子も数人いましたが、秋から冬にかけての準備としては一人一人が大きな収穫を得て帰ったことでしょう。怪我も一生懸命取り組んだ証拠です、治るまでは無理はしてほしくありませんが、治った後はまた元気な姿でのプレイを見せてほしいものです。

成長し力強くなっていく子供たちの相手をするには、自分自身ももう少し摂生しないと勤まらないなと感じています。3月までの約半年で、どのくらい強くなるかが非常に楽しみです・・・これを見守るべく、もうひと踏ん張りする所存ですので、皆様よろしく願います

本当に皆がよく頑張った夏合宿、6年生全員が菅平賞に値する活躍でした、アッパレ！

最後になりますが、合宿を陰から支えて下さった保護者の皆様に心より感謝申し上げます、ありがとうございました。

試合なしの夏合宿

6年コーチ 外岡 幸隆

連勝続きだった6年生も 春以降、意識的に強豪チームと、練習試合を重ね、苦戦が続き、課題が浮き彫りになりました。「集中力が足りない」、「試合の入りが悪い」、「声が出ない」……。

今回の夏合宿は、敢えてジャンボリーなどの対外試合をせずに、練習漬けの3日間としました。途中、怪我人も出て、思うような布陣で臨めないこともありましたが、厳しい練習を耐えて、乗り切った子供たちの成長は、眼を見張るものがありました。きつい場面でも声をだし、集中力を高め、「絶対に前に進むんだ！」、「絶対に止めてやるんだ！」という意識が、高まったように思えます。中には、この夏合宿で、もくもくと、練習に取り組み、急成長を遂げた子供達もいて、外岡も 涙腺がゆるむことも しばしばでした。

ただし、まだまだ課題はあります。「接点でのファイトの弱さ」、「外側に余っているのに、一人で突っ込む」、「無責任なパスを投げて、チャンスをつぶす」・・・など。これらの課題は、技術の問題ではなく、意識の問題です。夏以降、これら課題を克服していけば、県大会、ヒーローズ・カップ、ファイナル・カップと続く、大きな大会で、必ずや、「オレンジ旋風」を巻き起こせると思います。

最後の夏合宿

6年 諸田 章彦

今年の夏合宿はキツかったけどとても楽しかったです。

目標は自分を超えて成長することでした。

つらくてやめたくなる気持ちをふるい立たせいつもの自分を超えた練習、プレーが出来たので、とても楽しくあつという間に終わった合宿でした。ありがとうございました。

夏合宿を終えて

6年 小田部 晃太

今年の夏合宿は、練習がでしなかつたけど声を出してみんなを応援できたと思う。夏休みが開けたら練習ができるから人一倍頑張ります。県大会で優勝できるよう頑張ります。

夏合宿を終えて

6年 明石 遥希

ぼくは今回初めての合宿でした。夏合宿ではいつもよりキツイ練習をやりました。すごくつらかったけどその分自分が成長できたように思います。夏合宿が終わった後、少しなまけてきたけど「グラウンドに入ったら集中」と教えられたので、それを忘れずに練習しました。この前の川崎RSとの合同練習試合ではオフロードパスや低い姿勢、次はラインに入ろうなど考えて行動できました。これからも教えられたことを試合でいかしていきたいです。

最後の夏合宿

6年 河合 真輝

ぼくが今年の夏合宿でできたことは、タックルです。なぜなら、夏合宿の前は、パックが弱くて相手を倒しきることが出来なかったけど、今はパックが強くなったので、相手を倒しきることができるからです。この先は、あまり練習はできないと思うけど、今度はにげないで、タックルに入ることを目標にしたいです。できなかったことは、パスです。合宿に行くときと、行く前とは、全然上達してないので、パスのせいを上げたいです。

夏合宿を終えて

6年 川原 稜平

最後の合宿で頑張ろうと思っていったら、思った以上に大変で途中で吐いたけど最後まで諦めないで頑張ったから最後コーチ賞を取れて良かった。これからは合宿でやった事をいろんな場面で使っていきたい。

夏合宿を終えて

6年 小坂 龍平

僕は合宿で、すぐ横にならず前を向いて、勢い良く当たることを考えて、プレー出来るように練習しました。あとコーチに言われた無理に当たらず少しずらし行ってみると、当たった時よりも 前に出れたので良かったです。県大会に向けて練習頑張ります！

夏合宿を終えて

6年 小中 啄未

6年生は、ケガ人も多くて大変だったけど、みんなで楽しく練習が出来ました。去年までの合宿や練習は、とても疲れて楽しくなく すごく長く感じたていました。しかし、今年の合宿はとても楽しくてあっという間に終わってしまいました。ただ、タックルを決める事を目標にしていたのですが、まだ恐怖感があり上手くできませんでした。出来なかったけれど、それでもラクビーが楽しくなって来ました。

2017菅平合宿を終えて

6年 佐々木 成己

ぼくは今年の夏合宿で、外から見ることの大切さを知りました。ぼくは今回けががあまり練習ができませんでした。だけど、ちゃんと練習を見て、ここはどうすればいいのだろうと考えたり直したらいいと思ったことはアドバイスしたりしました。今回の合宿は、自分はちゃんとやりきったとは言えないけど、やれない人なりに、がんばることができたかなと思います。これからもこういうことができることがあったら活かしたいです。そしてけがをしないように注意したいです。

夏合宿を終えて

6年 中野 竜之介

今年の夏合宿は、メニューがキツかったけど、最後なので気合いを入れて頑張りました。部屋では班長として下級生をまとめようとしたのですが、できたかどうかはわかりません。合宿で更にチームの団結力が高

まったと思うので、県大会、ファイナルカップでは、優勝できるようにしたいです。

最後の合宿を振り返って

6年 中原 侑温

ぼくは、合計8回目の合宿、小学校のなかで、最後の合宿だったので、初日から全力で、練習にのぞみました。

1日目は、初めの練習からきつくて、6年生の厳しさを感じました。

しかし、やっぱりぼくはラグビーが好きできつい校長メニューも全力を出して取り組むことができました。

2日目は、タッチフットから始まり、楽しい気持ちでプレーすることができました。最後のラン練習も章彦に負けてしまったけど、出し切れたからよかったです。

3日目は、サニアパークにいて試合はしなかったけどコーチとの試合で、きそを学べて良かったです。

最終日は、5年生との試合で、合宿の成果をだすことができ、0点に抑え、勝つことができてよかったです。

生活面では、班長としての責任を感じ、つとめることができました。新しくメンバーになった、さほもフォローできよかったです。

校長を含めコーチの皆様この合宿で学んだことを生かして頑張ります。ご指導ありがとうございました。

5年生のお母様方、大変なお世話ありがとうございました。

6年生のご父兄の皆様応援ありがとうございました。

夏合宿を終えて

6年 本間 春輝

今回の合宿では、試合で、できるようになった事(テクニク)が増えたり、技術が上がったと思います。他にも、班長としての働きで、精神も上がったと思います。仲間との、友情やチームが1つになってゆく感じもしました。

2日目の半分から、怪我で休んでしまって、悔しかったけど、サポートできたのは良かったです。軽い捻挫だったので、すぐに復帰できたのもよかったです。しかし、良いことだけじゃなく きつい練習や、怪我でみているだけじゃ がまんできなかつたり、焼き肉の量が、多かつたりきつい事もありました。だけど、全力を出して、楽しかった夏合宿でした。

夏合宿が、終わってもミニ合宿があるのでそこで夏合宿で、けがをしてできなかった、ぶんをがんばりたいです。つらい練習かもしれないけど、全力を出してちゃんとミニ合宿で、出し切って終わりたいです。

夏合宿

6年 毛利 沙穂

初めての夏合宿で、一番思い出に残ったことは、初トライを決めたことと、特別賞をもらったことです。

グラウンドに入ったら気持ちを切り替えて練習に臨みました。

どんなにきつい練習でも、とにかく頑張りました。でも、このトライも、特別賞も、みんなのフォローがあつてのものだと思います。チームのみんな、コーチのみなさん、どうもありがとうございました。

これからも頑張りますのでよろしくお願いします。



校長メニュー↓







5年生の夏合宿

5年チーフ 小山田 俊広

7月14日から17日の菅平夏合宿は、幸い天候にも恵まれ4日間を有意義に過ごせたと思います。5年生は合宿担当の保護者の方々が近くにいると言う事ではりきったのでしょうか、今年はテント組も見当たらず、また大きな怪我もなく13名全員が4日間の夏合宿を無事に乗り切ることができました。

今年の合宿は悔しい思いと達成感の両方を味わえたジャンボリー大会と学年対抗試合でした。ジャンボリー第2戦担当レフリーからは、「前半はガッツのある素晴らしいチームと思っていたが、後半押し込まれてからネガティブな発言が多くなり残念でした。」とのコメントはこれからの課題です。

また、最終日6年生との学年対抗戦は、前日のくやしさを感じてくれたのか上級生相手に果敢に挑み接点では対等に戦えたかなと思います。1本も取れなかったことで、これからの自分たちの目標を見つけてくれたことでしょうか。菅平賞は、佐藤巧君を選びました。3年生の時の最初の合宿から目を見張る成長を遂げて、普段はおとなしいのに、合宿初日から真面目に練習に取り組み、声を出してみんなを引っ張ってくれました。

これから8月末のミニ合宿を経て県大会に臨みます。昨年、最終戦に敗れて悔し涙を流しました。合宿でやってきた練習を普段通りに発揮すれば君たちには優勝を狙える力が十分にあります。みんなで力を合わせて最後まで力を出し切ること！合宿の練習を思い出してください。秋の県大会では、合宿で鍛えたプレーに期待します！

最後に、保護者の皆さんには合宿担当として様々なお手伝いをしていただき誠にありがとうございました。また、学年対抗戦での最後まであきらめない姿をご覧いただけたことで今年の成果を感じていただけたと思います。

チームのために、仲間のために、頑張る ということ

5年 技術指導 杉浦 輝明

夏合宿の練習ではタックルとセービングに多くの時間を取って練習しました。天然芝の素晴らしいグラウンドで、寝転んではすぐ起きて、また寝転んではすぐ起きて、そんなプレーを繰り返して行いました。とても単純なプレーですが、みんなはどんなことを感じたでしょうか？目の前の相手にタックルして、すぐに起きる。目の前のボールに体ごと飛び込んで、ボールを確保して、すぐに起きる。走って、止まって、寝転んで、すぐ起きて、また走る。「すぐに」動き出すということは、思ったよりも大変で、疲れるプレーだと思います。でも、そこで疲れたからと言って休んでしまうと、チームが、仲間が、ピンチになるかもしれません。チームのために、仲間のために、とても苦しくて大変だけど、今自分が頑張る「すぐに」起き上がって走り出す。そんなことをみんなが考えてプレーできるようになると、もっともっとチームとしてのレベルが上がってきます。県大会に向けて「すぐに」動き出そう。

夏合宿

5年キャプテン 土屋 裕資

ぼくが夏の合宿でがんばったことはチームで勝つことです。負けているときこそ、声をかけあって、みんなで協力するべきだと感じました。

声をかけあって、最後まで全力で戦うこと、今後も続けていこうと思います。

県大会では優勝したいです。

夏合宿

5年バイスキャプテン 佐藤 巧

副キャプテンの仕事はあまり出来なかったけど、サニアパークではすごく上手くなったと思いました。そのおかげで菅平賞を取れたんだと思いました。

夏合宿

5年 片岡 祐貴

僕は夏合宿で初めてハーフをやらせてもらいました。ハーフのポジションは慣れていなかったの
で、とまどうことがたくさんありましたが、よい勉強になったので、充実した合宿になりました。これ
からもっと練習してパスを回せるようにしたいです。

夏合宿でできたこと、できなかったこと。

5年 倉谷 夏生

試合でちゃんとタックルができたこと、タックルの時、下を向いていたのが直せなかった。
夏合宿の感想。自分では夏合宿のおかげで、いろいろと成長できてとてもうれしいです。もっと強く
なりたいです。夏合宿は楽しかったです。

夏合宿

5年 渡邊 柊也

合宿の目標はハーフとしての役割を書きましたが、ポジションをウイングに変わったので、味方か
らのパスをもらいトライする事を頑張りました。
今までと違う動きになったけど、活躍できるようにこれからも練習していきます。

夏合宿

5年 鈴木 孝太

今年の合宿は2回目だったので、去年より緊張しませんでした。
合宿の目標だった『大きな声を出して全力でプレーする』は、普段の練習よりは、意識して声を出せ
ました。最終日の3分間、コーチと一緒に走ったり、タックルする練習が一番きつかったです。
BBQと花火が、とても楽しかったです。来年の合宿も頑張りたいです。

夏合宿をおえて

5年 中村 和樹

夏合宿での目標は、タックルを正確にして相手を倒すようにしたいと思いました。
合宿をとおしてできるようになったことは、トライする数が増えたことです。
ペナルティの時に、はやく、正確に、低いタックルができたので、次はもっと早く相手にタックルで
きるように、ふだんの練習できたえていきたいと思います。

夏合宿を終えて

5年 増田 悠真

夏合宿の目標にしていた「試合で声を出す」、「ポジションを理解する」について、少しはできるよう
になったと思います。合宿の練習を忘れずに、これからもがんばりたい。

夏合宿

5年 近藤 柚子葉

楽しみにしてた夏合宿でしたが、参加できませんでした。
その分、これからの練習、試合で結果を残せるよう努力していきたいと思います。
身体の柔軟性もないので、ストレッチなど、家でもできることを見つけ、グラウンドで輝けるよう頑張
りたいです。これからも、どうぞよろしくお願ひします。

夏合宿でできたこと、できなかったこと。

5年 牛山 颯士

『セービング』背を低くしてボールに飛びかかり、仲間がボールを取りやすくすること。これはかなり重要なので、これからはもっとやるようにしようと思います。できなかったことはタックルが高かったり、ラックでオーバーをさぼっていたことです。

サニアパークから山光館のグラウンドまで2年連続走って帰ったことは楽しい思い出です。合宿がもう少し長ければ良いなあ。

夏合宿の目標でできたこと、できなかったこと

5年 日笠 温斗

夏合宿の目標でできたことは、前よりもちょっと長く早くパスを出せるようになったことです。できなかったことは、ぼくは声出しが大きいときと小さいときがあるので、いつでも大きく出すようにしたいです。

夏合宿の感想について

5年 荒木 鷲摩

僕の夏合宿の目標は、中村和樹君みたいに低いタックルをすることでした。残念ながら達成する事は出来ませんでした。一部の試合では低いタックルが出来ましたが、ほとんどの試合では低く入ることが出来ませんでした。理由は、一年生の頃からあまり低いタックルには入れなくて、癖がついてしまっているからだと思います。残念で悔しいです。なので、来年の最後のラグビー合宿で、絶対にそれを調整できるようにしたいと思います。その代わりに、出来るようになったのは、強い当たりをすることです。これは嬉しいです。

今回の夏合宿の一番の思い出は、そんな当たりをして、頭を痛めたことです。

夏合宿

5年 土屋 裕資 母 美奈子

往路のバスから復路のバスに至るまで全工程家族で同行させていただき、普段のコーチたちがどれほど大変か見にしみて痛感しました。

同時にとても貴重な経験をさせていただき、家族共々いい思い出となりました。

痛くてもしんどくても果敢に挑む子供達と、またそれに向き合うコーチたちを目の当たりにし、感動して思わず涙が出そうになりました。

これからの人生、いろんなことがあるかと思いますが、合宿で経験したように、真正面から向き合い、自ら限界を決めることなく、努力を重ねていってもらえたらと願います。

私個人も今回の合宿で益々ラグビーの魅力にとりつかれてしまいました。

今シーズンは可能な限り、子の、麻生の、日本の選手の応援に行って楽しみたいと思います。

夏合宿

5年 佐藤 巧 母

今年は合宿班で参加させてもらいました。3泊4日子供達とすごさせてもらいまして、間近で子供達の頑張っている姿を見させてもらいとても感動しました。

朝早くから給水準備など大変な面もありましたが、合宿を手伝わせてもらったこと良い経験をさせてもらったなあと思っております。特に合宿を手伝ったお母さん方がみなさん良い方々で仲間にも恵まれた事はラッキーでした。

合宿のお手伝いを経験して、息子が3、4年生の時にお世話して頂いたお母様方にも本当に感謝です。

3年生の時にホームシックで練習が出来なかった息子が今年はたくましくなり、菅平賞まで頂きました。この菅平合宿で1年ずつ成長させてもらい、コーチの方々のご指導のおかげだと思っております。ありがとうございます。



ジャンボリー第1戦 京都プログレ戦後



ジャンボリー第2戦 常総ジュニア戦後



ジャンボリー第1戦 京都プログレ戦



ジャンボリー第1戦 京都プログレ戦



ジャンボリー第2戦 常総ジュニア戦



ジャンボリー後の4年生との学年対抗戦

〈4年生〉



タックル、タックル、くるくるパー

4年生チーフコーチ 角田 浩史

今年4年生は、個々のレベルアップを図ることに重点を置いて夏合宿に臨みました。

特にパス、キャッチ、タックルです。

ミスマッチの可能性や時間運営に苦慮する可能性のあるジャンボリーに参加せず、また、SHを中心に午後は早出練習を行うなど、例年以上に練習時間の確保に努めました。

途中、黒須臨時コーチを迎えての特別メニューもこなし、パスとキャッチは一定の成果を挙げる事が出来たと思いますが、タックルはまだまだ手先だけの『ペタペタタックル』が散見されます。

県大会2チーム優勝を果たすためには、全員が仲間のために体を張ったタックルが必要です。

ラグビーを始めて間もないある生徒が「俺がタックルしなかったらトライ取られると思ったからタックルした」と言ったことが忘れられません。

華麗なトライは観る者を喜ばせますが、体を張ったタックルは人々に感動を与えます。

4年生のみんなには、人々に感動を与えられるような立派なラグーマン・ラグールになって欲しいと切に願います。

そのために、コーチたちも色々考えて練習に参加するので、4年生のみんなも仲間のために、勇気を振り絞って体を張ったタックルが出来るように努力しよう！

夏合宿を振り返って

4年生サブチーフコーチ 山本 慎一

優秀な子供が多いこの学年のレベルをさらに上げるため、力が拮抗している選手同志をペアにして、最後まで競わせました。

成果は分かりませんが、お互いを意識して勝負にこだわったプレーも見られるようになり、これからが非常に楽しみです。

県大会では2チームが優勝できるようみんなで力を合わせて頑張っていこう！

4年生のみなさんへ

4年生サブチーフコーチ 夏川 純一

今年の夏合宿は、基礎を中心とした練習を行いました。自分のラグビーに対するスキルが向上したことが実感できたのではないのでしょうか。

コーチとしては、皆さんの吸収力を見て、あれも教えたい、これもおぼえてほしいと、より欲が出た合宿でした。

今皆さんはおぼえた知識を点で覚えている状態だと感じております。この点をもっと増やして、まずは線に、次に面にひろげていただければと考えております。

チームについていえば、特にBチームはかなり実力をつけてきています。この調子でガンガンがんばっていきましょう。

Aチームもうかうかしてられないですよ。チームのメンバーと一緒に、泥臭くてもかっこいいラグビーをしていきましょう。

ただ、残念なことにまだまだ罰ゲームがなくなりません。練習するときは練習する、休むときはしっかり休む、遊ぶときは真剣に遊ぶといったメリハリをつけていきましょう。

県大会まで残りあとわずかです。がっつり練習して、勝利の楽しさを味わいましょう！

夏合宿の感想

4年 黒須 樟

タックルとかオーバーが上手く出来なかったから、県大会までに上手くなって試合にたくさん勝ちたいです

夏合宿の感想

4年 島田 恭助

菅平合宿ではたくさんの方の事を学んで、タックルが強くなるようになったこととスピードがついたのでこれからの練習や試合で活かしたいです。もう一つは、バイスカプテンになったのでキャプテンのしょうを助けて、もっと強いチームにしたいです！

夏合宿

4年 毛利 蒼矢

練習が普段より長くてきつかったです。400メートルも一日に2回走ってきつかったです。

でも、ぼくはがんばって最後まで走りました。練習は一度も休まなかったです。

合宿で一番がんばったのはキックオフのボールをキャッチすることです。

少しずつできるようになりました。できなかったことはタックルで、練習中に、くやしなみだが出てきました。

コーチにアドバイスをもらってがんばろうと思いました。

これからもこわがらずにがんばって行きたいです。

夏合宿

4年 宮本 大地

合宿での目標は低いタックルをする！だったが、できるようになった。
声をあまり出せなかったなので、これからの練習では声を出すようにがんばりたい。
最終日の1.2.3の練習がとてつらかった。
BBQでおいしいものが食べれたのでとても楽しかった。
5年生と試合をしたが、とても強かった。特にスピードが速く、出るのも早かったので自分たちもスクラムやキックオフで早く出れるようにして県大会でゆうしょうしたい。

夏合宿で出来たパス

4年 千秋 勇都

今年の夏合宿の目標はスクラムハーフとしての素早いパスを身に付ける事でした。
上田コーチに姿勢とコツを教えてもらったので少し出来た気がします。

夏合宿の感想

4年 星野 賢吾

今回の合宿でできたことはパスです。どうしてかということ、合宿の自主練習でパスをしたからです。
できなかったことはタックルです。どうしてかということ、まだまだ自分にとってはタックルがあまいな一と思ったからです。
合宿で楽しかったことは、みんなと仲良くできたことです。
つらかったことは、毎回いつもみんながすぐ集まれなくて、いつも走らされたことです。

合宿感想

4年 西岡 綜介

合宿の目標は足が早くなることです。沢山合宿では走ったので少しは早くなったかもです、低いタックル出来るようになるため沢山タックルの練習しました。
合宿で一番辛かったことは試合です、相手からボールを奪うため走ったり、皆にボールを渡すため相手から踏まれたり辛い事が沢山ありますが僕は一番試合が好きです、皆でトライを決めた時自分でトライ決めるとき、相手からボール奪ったとき嬉しいので試合が一番大好きです。

夏合宿の感想

4年 萬場 愛実

大和との試合の時、雨がふってて寒かったけど、ボールを持って良かったです。最後の日は、休んでしまったけど、来年は休まないようにがんばります。

夏合宿の思い出

4年 佐上 海人

ぼくは、合宿に行く前の目標を、菅平賞を取る、50mを8.8秒で走れるようになる、ショートパントができるようになると決めました。
ぼくは、毎日練習をがんばったら、目標を2つ達成しました。
1つ目は50mを8.8秒にできました。
2つ目は、菅平賞を取ることができました。角田コーチから自分の名前が呼ばれた時はビックリしました。
目標を達成できなかったショートパントは、県大会までにできるように努力します。
みそをつけて食べたきゅうりがとてもおいしかったので、来年の合宿でも食べたいです。

夏合宿

4年 杉浦 圭祐

つらい練習もあったけど、みんなで練習できて良かった。パーキューと花火は楽しかったです。

夏合宿の感想

4年 浜田 琉生

楽しかった事は、友達と遊べた事です。辛かった事は、校長のアップがきつかった！でも、最後までやりきれて良かったです。

夏合宿の感想

4年 君村 界

合宿の目標： タックルを一発も外さないこと。

出来たこと： いっぱいトライした。

 タックルとオーバーができた。

 練習中にクロスが成功した。

出来なかったこと： 試合中にハンマーができなかったし、みんなやってなかった。

 りょうまのクロスが失敗した。

 タックルを何回か外してしまった。

一番楽しかったこと： 試合が一番楽しかった。あと花火と焼き肉が楽しかった。

辛かったこと： 練習は辛かったけどむしろ楽しかった。

悔しかったこと： 最終日に喘息で練習時間が減ってしまったこと。そして菅平賞が取れなかったこと。

夏合宿の感想

4年 小中 征人

目標にしていた、試合でタックルをするという事が出来ました。

ドロップも出来るようになりました。

特に最後の1日の練習はとてもきつかったです。

今度からは、もっと試合でタックルやトライを決めたり、ドロップも もっと上手になりたいです。

いつでも、つよく身体はかたくタックル、トライ、ドロップ、キック 全部決めたいです。

6年生とも試合で、戦って勝ちたいと思っています。

もっと練習を頑張って、誰でも強くタックルで倒せるようになりたいです。

中学生やコーチとも 試合をしてみたいです。

夏合宿の感想

4年 関口 和佳奈

合宿の目標は「タックルを強くなる」でした。タックルの押しが強くなったと思うけど、合宿で習ったタックルの後のトライダウンがすごく難しい。頭でわかっているけど体が動かないから、これからの練習でできるようになりたい。

仲間がハンズアップしているところを狙ってパスできるようになったり、試合でパスを落とさずキャッチできたり、パスのコントロールが上達したと思う。

合宿中の試合ではモールの中でマイボールなのにすぐにボールを拾えなかったり、SH として周りのフォローがうまくできなかった。

合宿でできることが増えたけど、これから頑張ることもたくさん知ることができました。

夏合宿の感想

4年 金田 晃和

夏合宿では、タックルで沢山の相手を倒すことを目標にして臨みました。練習では、タックルのピックアップが難しかったけれど、頑張って取り組むことができました。これから極めていきたいと思います。

夏合宿の感想

4年 金田 剛和

夏合宿では、ライバルとの対決やバーベキューが楽しかったです。経験を活かして、これからの練習も頑張りたいです。

夏合宿を終えて

4年 福岡 遼

夏合宿では大きい声を出すこととドロップキックがうまくなることを目標にしていました。できた事はお昼の自しゅ練をがんばれた事です。ドロップキックはこれからも練習を続けていきたいです。来年はもっとたくさん試合をしたいです。

夏合宿の目標

4年 菅田 葵

私のこの合宿の目標は「いいプレーをしてみんなをひっぱれるようにする」というものでした。そのために、声出し、タックル、パスをがんばったり、ブラインドを気をつけたいと思いました。ですが、最後の日 3 年生とのし合で、すこし気をぬいてしまってタラタラ走ってしまったので、次回からは気をゆるめず、目標をいしきしていきたいです。

夏合宿を終えて

4年 笹崎 善太郎

二回目の合宿でしたが、去年よりご飯がおいしく感じた。練習を頑張ったからだと思います。雨の中の試合もあったが楽しかったです。タックルがんばります。

4年生の夏合宿

4年 河合 遼真

ぼくのできたことは、タックルです。できなかったことは、パスやフォローやオーバーです。目ひょうは、県大会ゆうしょうしたいです。



菅平合宿での4年生チームを見て

4年 島田 恭介 父

パスを繋ぐ場面が多くみられるようになってきたと感じました。子供たちがいろいろな事を気づき始めているのでしょう。また、多くの子供たちがボールに関われるようになってきたと思います。オーバーなどボールの取り合いに関してはまだまだです。とにかく、ボールを確保する事にもっと貪欲に、怖れずに体を張れるともっと強いチームになれる気がします。チームの個性は勝ちたい気持ちが強いので良い傾向を感じています。このままコーチの方々と子供たちが一丸となってどのような状況でも勝ち進めるチームになってほしいと思っています。いつも、応援しています。



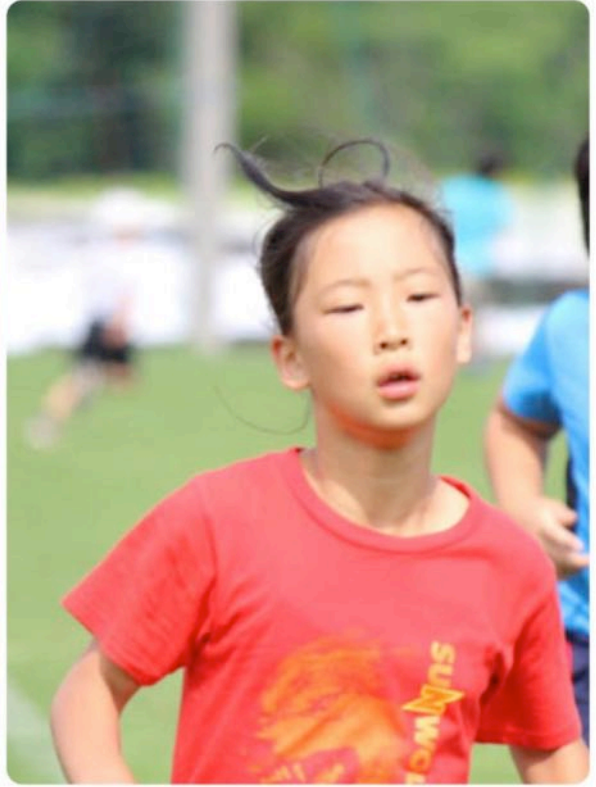
4年生：初日往路バス。



4年生: スナップ1



4年生：スナップ2



4年生：ラグール全員頑張りました！



4年生: スナップ3



4年生：菅平賞及び復路バス内での新キャプテンとバイス発表！

〈3年生〉



夏合宿を無事終えて

3年コーチ 山崎 裕二

夏合宿、とても楽しかったですね。

いつもと違うグラウンドで新鮮な気持ちで、たくさんの練習をして、試合もして、朝から夕方までず～っとラグビーをすることができました。子供たちもきっと「夏合宿楽しかった」「来年もまた来たい」と言っていることと思います。

ラグビーは練習でも試合でも、痛いことやツライことも多いのに、何でこんなに「楽しかった～」ってなるんでしょうね。きっと仲間たちが一緒だからだと思います。今回の合宿では、グラウンド以外でも仲間たちや上級生たちと協力しあって一緒に過ごしました。コーチに叱られることもありましたが、それも仲間たちがケアしあい、助け合っていたと思います。

3年生は21人になって、3チームでジャンボリーを戦いました。この後の県大会も3チームで戦います。夏合宿で経験したことを忘れずにこれからに活かしてください。

最後に私の心の声「ホントにみんな無事に帰って来てよかった～！」

合宿はどうでしたか

3年コーチ 武井 智之

みんなにとって初めての合宿はどうでしたか？

楽しかった子、練習がきつかった子、部屋が暑かった子、ご飯がおいしかった子、花火が楽しかった子、それとバーベキューが楽しかった子とそれぞれだと思うけど、コーチとしては大きなケガもなく合宿が終了して本当に良かったと思っています。

今年はフル参加できなくて不完全燃焼だったけど、来年はみんなが「武井コーチはもう帰ってくれ」と泣いてお願いされても帰らないで みんなを強くするから、カクゴしておくようにな。

3年生初めての夏合宿

3年コーチ 齋川 宏

コーチは今年で6回目の菅平合宿でした。感想は楽しかったです。皆はどうでしたか？想像通りでしたか？思っていたよりきつかったですか？例年の3年生に比べて練習時間は短かったと思います。でも初めての夏合宿としては丁度良かったと思います。天候にも恵まれました。サニアパークのスケジュールは最高でした。

コーチが前回の3年生の時が一番きつかったです。兎に角良く走っていました。どのメニューにも走りが加わっていました。思い起こすと、きつくて当たり前なコーチが揃っていました。今はDAGSで走れ！を連呼しているコーチ、南アフリカ共和国でボクスを堪能しているコーチ、“本場”大阪のRSで熱血指導しているコーチ。君たちは運が良いです。

現行の3年生は優しいコーチ揃いです。勿論、前回のコーチは皆理論と実践を伴った指導力に優れた方々であった事を言い添えておきます。

さて、肝心の今年の夏合宿中にコーチが皆に感じた事を忘れない内に書いておきます。菅平賞やコーチ賞は3名に限られましたが、皆、各賞に匹敵していたと思っています。今まで出来なかったプレイが合宿中に簡単に出来る様になった訳ではありませんが、プレイに対する“思い”は伝わって来ました。一人ひとり間違いなく上手くなっています。但し、皆未だ、感覚だけでプレイしています。それだけのままでは自分たちよりも実力が上のチームには歯が立ちません。対等に戦うためには、もっとルールを覚え、理論を理解して下さい。その為にはコーチの話をしっかりと聞いて下さい。そうすれば、JAPAN黒須コーチからも指摘があった団子状態は自ずと解消されます。チームとしても成熟します。

秋の県大会には3チームで登録予定です。夏合宿は経験する為のイベントではなく、成果を出す為のトレーニングです。そして県大会は自分自身の為、仲間の為、成果を発揮する舞台です。

目標は3チーム揃って優勝！！

成長機会

3年コーチ 笹崎 順平

夏合宿という大きな環境変化を経て、子どもたちはたくましく、ひとまわり強く成長したと感じている。そして、われわれコーチも同様の成長機会をいただいたと感謝している。

つらい、いたい、くやしい、悲しい、そして嬉しい、楽しいと、さまざまな感情をいただいたことと考えているが、いずれにしても途中で投げ出さずに、最後まで走り抜いたこの事をぜひこれからの成長の糧にさせていただきたい。

楽しかった合宿

3年 長谷川 翔馬(はせがわ しょうま)

今回、初めて合宿に行き、きんちょうしましたが、ラグビーれん習後、みんなとおゆかけっこをしておふるに入ったのが楽しかったです。

また、タックルやキヤッチをジャパンの人に教えてもらい勉強になりました。

最後の日はバーベキューや花火をして楽しかったです。

4年生になったら、また合宿に行きたいです。

夏合宿の感想

3年 児玉 健吾

夏合宿はぼくが想像していたよりつかれました。

試合ではパスをもらったりしてトライを3回くらい決めました。

つらくても最後まであきらめませんでした。

後は花火が楽しかったです。

バーベキューはいっぱいお肉とやさいをたべておいしかったです。

次こそは

3年 森永 太紀

キウイズとの試合に負けて悔しかった。試合の中で自分で考えて動くことが難しい。もっと練習をして自信を持って次こそは勝ちたい。

3年生の夏合宿

3年 古川 敦也

僕は、1年生、2年生の時も兄が合宿に行っていたので、菅平の練習にさんかしていました。2年生までの合宿は楽しかったけど、3年生になって今回さんかした合宿は、れん習がきつくて大へんでした。でも、日曜日の夜にやったBBQは、その分おいしかったです。

はじめてのがっしゆく

3年 吉田 ゆうま

はじめてがっしゆくに行った。たいへんなこともあったけど楽しかったです。またらいねんもがっしゆくに行きたいです。がっしゆくががんばったのでけん大会もがんばりたいです。

初めての夏合宿

3年 内田 昂希

苦手なトマトを食べるのは辛かった。練習もきつかったけど頑張れた。これからもまたタックルを頑張ります。

楽しかった夏合宿

3年 杉野 勝吾

ぼくが1番心に残っているのは、ジャンボリー大会のことです。ぼくは1試合目のキウイズとたたかって、ぼくたちのチームは ぜんぜんひろがれていなくて、キウイズはひろがっていたので、もっと練習をしないとだめだな、と思いました。夏合宿で一番楽しかったことは、みんなでいっしょにやった練習です。理由は みんな練習をがんばってとりくんで、強くなりたいという気持ちがすっごく伝わってきたからです。一番さいごの日に3分間ずっと走ったりタックルしたりする練習が とくに楽しかったです。班のみんなもすっごくやさしくて、楽しかったです。早く来年の合宿に行きたいです。

たのしかったラグビー合宿

3年 村松 颯太

ラグビーの合宿に初めて行って、いつもの練習よりキツかったけどみんなと行けて楽しかった！

夏合宿

3年 永井 龍介

ジャンボリーでやった事の無いチームと沢山試合が出来て楽しかったです。後から4年生もいるチームともいい試合が出来た事を知り、嬉しかったです。来年もジャンボリーに出たら、全試合勝てるようにこれらからも練習を頑張りたいです。

夏合宿の感想

3年 伊藤 優多朗

ジャンボリーのしあいで1回かって、とてもうれしかったです。だけど2しあい目はまけて、とてもくやしかったです。タックルのやりかたをもっとれん習したいです。し合、れんしゅうしあい、れんしゅうのとき、いろんなポジションをうまくなって、いろいろやりたいです。はなび、バーベキューも、おもしろかったし、きれいでした。

初めての夏合宿

3年 大野 伸一郎

合宿の練習で足が早くなった気がしました。来年も参加したいです。

夏合宿の感想

3年生 森 琉(りく)

夏がっしゆくで、目ひょうをたててがんばりました。
サニアパークで、3・4年の合同チームにかてて、うれしかったです。

合宿の思い出

3年 山本 空

練習はキツかったけど、花火とバーベキューがすごく楽しかったです。

夏合宿のかんそう

3年 龍 瑛之助

チームのみんなと泊まれて楽しかったです。ラグビーも少しじょうずになった気がします。

初めての夏合宿

3年 谷澤 慶

はじめて合宿に行きました。
同じ班の4、5、6年生ともなかよくなりました。
3年生のなかまともなかよくできました。
れんしゅうはきつかったけど楽しい思い出が出来ました。
すが平賞がもらえたことは本当にうれしかったです。

頑張った事

3年 加藤 空

トライをいっぱい決める事を頑張って、楽しかったです。
これからは、どんなデカイ相手にも引かずにタックルをします。
初めての夏合宿で緊張したけど、楽しかったです



成長を感じた合宿

3年 吉田 悠真 父

上の息子の合宿にいつも一緒について来ておりましたので、悠真にとっては今回で7回目の菅平でした。いつも兄の厳しい練習の横で遊んでいたのが、初めて自分の合宿でラグビーに取り組んでいる姿を見て、改めて成長を感じる事ができました。

またジャンボリーで3・4年生混合チームの大きい相手に対しても積極的にタックルに入っていた子供達を見て本当に嬉しく思いました。(あえて4年生が混じっている事を事前に子供達に伝えなかったのが良かったのかもしれませんが)

まだまだ課題もたくさんあると思いますが、県大会に向けて頑張ってもらいたいです。コーチの皆さま、5年生のご父兄の皆さま本当にありがとうございました。

久しぶりの菅平

3年 龍 瑛之助 父 祥之助

大学時代の夏合宿以来、約20年ぶりに菅平に行き、子ども達の試合を数試合観戦しました。真剣な顔つきで必死にプレーする子ども達は、合宿に行く前より逞しく見えました。息子も、たまにはまともなプレーをすることもできるようになり、成長を感じ嬉しくなりました。

楽しい思い出を作って頂き、親子ともどもコーチの方々、チームのみんなに感謝しています。

夏合宿の感想

3年 長谷川 翔馬の父

入校してすぐに合宿に参加する事が出来た為、みんなに早く顔を覚えて貰う事が出来て良かったと思います。菅平という良い環境でラグビーに触れ、今後のやる気に繋がっていく事を期待しています。

合宿

3年 山本 空・母

雨が降り、肌寒いなかでも練習・試合を頑張る姿に感心しました。良い経験になったことと思います。

息子の成長

3年 杉野 勝吾 母

かねてから楽しみにしていた初めての夏合宿。

直前に6年生お兄さんから、「夏合宿には菅平賞というのがあって、、、」と聞かされ、景品がもらえるこ

と、各学年1人だけ選出されることに、息子は「絶対 菅平賞取りたい！」と息巻いていました。

私は 日曜日に 日帰り合宿応援に行きました。

そこでは、大きな声を出し 掛け声をかけて 張り切っている息子の姿から、あからさまに「賞 狙いすぎ!？」と思えるほどでした。

合宿最終日、グラウンドにいた父兄の方から生中継で閉会式の様子のラインが飛び交い、残念ながら、息子は菅平賞をもらうことができなかったようでした。

また「トウゴがコーチ賞もらって泣いてたよ」と写真付きで報告も もらいました。

私は てっきり悔しくて泣いてるんだらうなあ、とっていました。

その後、無事に戻ってきた 真っ黒な息子に「菅平賞 残念だったね。悔しくて泣いてたの？」と聞いてみると、「菅平賞は やっぱりケイだと思ったよ。あの時は すごく不思議な気持ちになって、悔しいのと、嬉しいのと、あと合宿が終わるのが寂しくて 泣いてしまったよ。」と答えました。

親の想像をはるかに超えて 成長してきた息子でした。

コーチの皆様、お手伝いのご父母の皆様、3 日間もの長い時間、常に安全に配慮しつつ、ご指導くださり本当にありがとうございました。

貴重な素晴らしい経験をさせていただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。

初めての夏合宿

3年 大野 伸一郎 母 典子

息子以外の家族みな初めての菅平でした。コーチのご指導、ご父兄のお手伝い、素晴らしい環境での合宿は、良い思い出になったと思います。ありがとうございました。

初めての夏合宿

3年 内田 昂希 父 内田 幸宏

菅平といえば私も若かりし頃テニスの合宿で何度も訪れた場所です。20 年ぶりに訪れ、自分の息子が同じ地でスポーツは違えど汗いっばいに頑張っている姿を見れてとても感動しました。特に朝食前に空腹に耐えながら(?)懸命に走り回り、旨そうに頬張る姿は感慨深いものがありました。今回は初めての合宿で付いていだけで精一杯だったと思いますが来年からは大きく成長する場にできたらと期待しています。

コーチの皆様および5年生の御父母の皆様には心より感謝申し上げます。

初めての菅平合宿に参加して

3年 村松 颯太 父

息子の初のラグビー合宿ということで合宿前は色々な意味で期待と不安な気持ちでした。合宿は普段の練習では味わえない空気、コーチの皆さん厳しさの中での集団生活やラグビーの練習、試合を通して垣間見る息子の成長を見ることができたという意味で本当に参加して良かったと思っております。また、最終日にはコーチの皆さんと一緒に練習にも参加出来、とても楽しい夏の思い出となりました。また来年も参加したいです。ラグビーももちろん大切ですが、これを期にチームとしての親睦が深まり信頼関係に繋がってもらえればと思います。今回主に合宿の準備をいただいた5年生のお母様方、コーチの皆さん本当にありがとうございました。

初めての菅平合宿

3年 村松 颯太 母

初めての合宿に参加させていただき、普段の練習より更に熱いコーチ陣のご指導もあり、子供達の苦しみの中でもがむしゃらに立ち向かう姿を見ることができました。仲間と共にラグビー漬けになれた3泊4日は、息子にとってかけがえのない時間になったことと思います。5年生のお母様方をはじめ、支えていただいたご父兄に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

初めての合宿を無事に終えて

3年生 森 琉 母 和 恵

初めての夏合宿に参加した3年生ですが、体調不良や大きな怪我もなく、みんな楽しめたようです。ジャンボリーの試合がある(日)のみ応援に行きましたが、合宿での練習を頑張ることで子供たちは成長するので、練習も応援してあげた方が良かったかなと思いました。

コーチの皆様、5年生のお母様方、いろいろとお世話になり感謝しております。ありがとうございました。

これから、初めての県大会を迎えます。子供たちはもちろん頑張ると思いますが、私たちもしっかり応援していきます。

3年生初ジャンボリー

3年生 森 琉 父 敦

コーチの皆様、帯同されていた保護者の皆様、菅平夏合宿 2017 は、大変お世話になりました。ありがとうございました。以前、琉は1年生で夏合宿を体験していたものの、親がいない中でやれるのかな？と不安な面がありましたが、コーチや帯同されている方から、琉なりにやれていたと伺い、一安心。・・・ですが、試合を見た限りでは、琉はまだ本気を出し切れていない印象を持ちました。

中学生の兄の動きと比較し、私が厳しい目で琉を見ているせいかもしれませんが、きっとまだまだやれるはず・・・。焦らないで、でも精いっぱい全力を出して、ぜひチームに貢献できるプレーを見せて貰いたいと思います。秋の県大会、みんなでがんばれ～！！



試合結果

<大和RSとの合同練習>

日程:7月9日(日)

場所:聖セシリア

<3年生>

麻生 ○20- 5● 大和

麻生 ○40- 5● 大和

麻生 ● 5-10○ 大和

<4年生>

麻生C ● 5-20○ 大和

麻生D ○30- 5● 大和

<5年生>

麻生 ○85- 0● 大和

<6年生>

麻生 ○60- 5● 大和

《夏合宿》

<ミニラグビージャンボリー>

<3年生>

麻生 (O) ● 5-25○ 京都kiwi

麻生 (O) ○40-20● 宇都宮3~4年

麻生 (N) ○45-10● 川口

麻生 (N) ●20-45○ 栃木3~4年

麻生 (R) ○35-15● 八王子

麻生 (R) ● 0-20○ 山梨3~4年

0:Orange N:Navy R:Red

<5年生>

麻生 ○75-0● 京都プログレ

麻生 ○30-0● 常総Jr.

麻生 ●0-40○ 常総Jr.

<対外交流試合>

<4年生>

麻生 ● 5-10○ 大和

麻生 ○15- 5● 大和

麻生 ● 5-15○ 大和

<麻生RS内 学年対抗戦>

4年A ● 5-45○ 5年A

4年B △20-20△ 5年B

3年O ● 0-20○ 4年D

3年N ● 0-15○ 4年C

3年R △10-10△ 4年B

5年 ● 0-35○ 6年

《川崎市RSとの合同練習》

日時:7月23日(日)9:00~11:00

場所:日大稲城グラウンド

<1年生>

麻生A ●15-10○ 川崎市A

麻生B ● 0-20○ 川崎市B

麻生A ●10-25○ 川崎市AB

麻生B ●10-20○ 川崎市AB

<3年生>

麻生A ○10- 5● 川崎市A

麻生B ● 5-35○ 川崎市B

<4年生>

麻生A ○15- 5● 川崎市A

麻生B ○20-10● 川崎市B

<5年生>

麻生 ●20-30○ 川崎市

<6年生>

混成A ○20-15● 混成B

編集後記

今年は天候に恵まれ各学年とも充実した夏合宿だった様子が、皆さんの原稿から伝わってきました。スクールの夏休み期間中に、夏合宿で体得したものをすっかり忘れてしまう子どもたちも例年いますが、あっという間に県大会のシーズンがやってきます。リトルラグーマンを読んで夏合宿を思い出しながら、日々の練習、試合に臨んでもらえたら嬉しい限りです。

(編集長 野田)

麻生リトルラグーマン NO. 113

発行日／平成29年8月18日

発行者／三浦 幸宏(042-338-7536)

編集長／野田卓人(044-281-9788):E-メールアドレス tactn@me.com

副編集長／吉田大輔

編集委員／外岡幸隆・大原広生・牛山健太郎・室井秀夫・細谷仁・竹渕桂史・伊藤信一

表紙題字:元全日本監督 日比野弘氏 ホームページ <http://asaors.com/>